ONKYO®

リモート インタラクティブ ドック

DS-A1(B)

取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所にオンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内とともに大切に保管してください。

安全にお使いいただくために

この「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中や近傍に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

■故障したままの使用はしない

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本機のACアダプターをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理を依頼してください。

■ACアダプターは指定した以外の電圧で使用しない

- 表示された電源電圧以外の電圧や船舶などの直流（DC）電源には絶対に接続しないでください。火災・感電の原因となります。

■絶対に裏ぶたは外さない、改造しない

- 本機の裏ぶたは絶対に外さないでください。感電の原因となります。内部の点検･整備・修理は販売店に依頼してください。
- 本機を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となります。

■水のかかるところに置かない

- 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- 本機は屋内専用に設計されています。ぬらさないようにご注意ください。内部に水が入ると、火災･感電の原因となります。

■中に水や異物が入ったら

- 万一、本機の内部に水や異物が入った場合は、すぐにACアダプターをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

■接続について

- 本機を他のオーディオ機器やテレビなどに接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、各機器の電源スイッチを切り、説明に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると、発熱し、やけどの原因となることがあります。

■点検について

- シンナー、アルコールやスプレー式殺虫剤を本機にかけないでください。塗装がはげたり変形することがあります。
- 表面の汚れは中性洗剤を薄めた液に布を浸し、固く絞って拭きとった後、乾いた布で拭いてください。化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどをお読みください。

特長

- ■ **iPodに蓄積した音声ファイルをCR-T1にRI接続して良い音質でお楽しみいただけます***
- ■ **オンキヨー製オーディオシステムに付属のリモコンで簡単に操作できます**
- ■ **iPod Nano、iPod Photo、iPod Mini、第5世代、第4世代、第3世代のiPodに対応**
- ■ **音楽を楽しみながらiPodに充電できます**

＊画像出力は、iPod Photoのスライドショーや第5世代iPodのビデオ再生にのみ対応しています。

※DS-A1に関する最新情報は、弊社ホームページをご覧ください。
http://www.jp.onkyo.com/

接続できるiPod

- iPod Nano（ソフトウェア1.0以上）
- iPod Photo（ソフトウェア1.0以上）
- iPod Mini（ソフトウェア1.2以上）
- 第5世代 iPod（ソフトウェア1.0以上）
- 第4世代 iPod（ソフトウェア3.0.2以上）（Dockコネクタを装備したClick Wheelモデル）
- 第3世代 iPod（ソフトウェア2.2以上）（Dockコネクタを装備したTouch Wheelモデル）

ご注意　ご使用になる前に、必ずご使用のiPodを最新のバージョンにアップデートしてください。最新バージョンにするためのソフトウェアアップデーターは、Apple社のホームページにて入手してください。

<お 知 ら せ>

- 取扱説明書に記載の操作は、2006年6月現在のiPodを基準にしています。今後のiPodのファームウェアのバージョンアップ等により、操作できる機能の範囲が変更になる場合もあります。
- 本機に付属のACアダプターは、DS-A1専用です。他の機器に接続して使うことはおやめください。また、DS-A1をご使用の際、他機のACアダプターをご使用になるとDS-A1の故障の原因となりますので必ず付属のACアダプター（IU15-2120100-WP）をお使いください。

本体と付属品

ご使用になる前に、下記のものがそろっていることをお確かめください。

DS-A1（本体）

ACアダプター

オーディオ用ピンコード（1本）

Sビデオコード（1本）

RIケーブル（1本）

アダプター（ⓐⓑⓒⓓ各1個）

- iPod mini用ⓐ
- iPod（30GB/40GB）、iPod Photo（60GB）、iPod with video（60GB）用ⓑ
- iPod（10GB/15GB/20GB）、iPod Photo（30GB）、iPod with video（30GB）用ⓒ
- iPod Nano用ⓓ

ⓐ

ⓑ

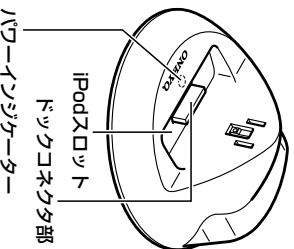
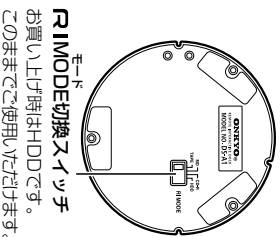
ⓒ

ⓓ

取扱説明書（本書1）

*Apple iPodは含まれません。

各部の名称

上面

iPodスロット

ドックコネクタ部

パワーインジケーター

底面

RI MODE（モード）切換スイッチ

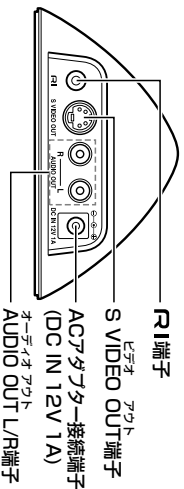
お買い上げ時はHDDです。
このままでご使用いただけます。

裏面

RI端子

S VIDEO（ビデオ） OUT（アウト）端子

ACアダプター接続端子
(DC IN 12V 1A)

AUDIO（オーディオ） OUT（アウト） L/R端子

iPodをDS-A1のドックコネクタに接続する

iPodのドックコネクタポートをDS-A1のドックコネクタにしっかりはめ込みます。iPodによってはDS-A1との間にすき間ができますので、付属のアダプターを使用してください。

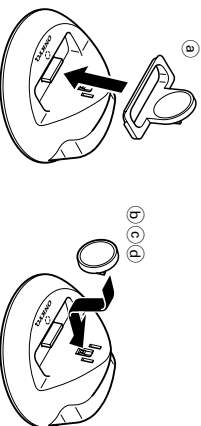
ご注意

- iPodを抜き差しするときは、ねじったりしてコネクタ部を傷つけないようにしてください。また、使用中にiPodを前に倒したりすると、コネクタ部を破損する原因となりますので、ご注意ください。
- FMトランスミッターやマイクロフォンなど他のアクセサリーとは併用しないでください。動作不良などの原因となる場合があります。

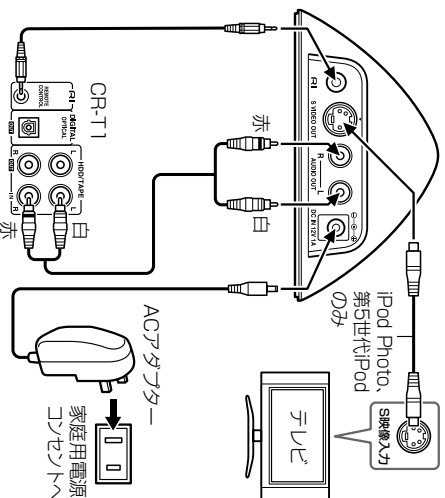
アダプターの使いかた

お使いのiPodに合うアダプターをご使用ください。

ⓐ

ⓑⓒⓓ

接続と操作

使用できる操作はiPodの世代によって異なります。

右項の説明をよくお読みになり、下の図のように接続してください。

CR-T1との接続

1. DS-A1の音声出力端子(AUDIO OUT L/R)とCR-T1のHDD/TAPE IN L/Rを接続する
2. CR-T1の入力表示名称が「HDD」になっていることを確かめる
   - 入力選択で「HDD」が表示されず、TAPEやCD-R、MDなどになっている場合は、CR-T1の取扱説明書をご覧になり、入力の表示名称を「HDD」に設定してください。
3. DS-A1のRI端子とCR-T1のRI端子を接続する
4. iPod Photoや第5世代のiPodをご使用の場合は、DS-A1のS VIDEO OUT端子をテレビのS映像入力端子に接続する
5. DS-A1底面のRI MODE切換スイッチを「HDD」にする
6. DS-A1のDC INにACアダプターを接続し、アダプターのプラグを家庭用電源コンセントに接続する
7. iPodをDS-A1に乗せる
   - このとき、パワーインジケーターが一度点灯したあと消えます。iPodへの充電が行われます。また、iPodからの音声や映像がDS-A1の出力端子から出力できる状態になります。
8. CR-T1のリモコンで操作する

RI MODE SELECT
MD / TAPE　CD-R / HDD
HDDに

DS-A1の動作中は、パワーインジケーターが点灯します。

ご注意　ACアダプターが電源コンセントに接続されていない場合は、iPodの▶ボタンを押してもシステム機器から音声と映像は出力されません。また、リモコン操作も受け付けません。

操作と可能な動作

システム操作

基本動作

CR-T1に付属のリモコンを使って、iPodの再生/一時停止/次へ/前へなどの基本的な操作を行うことができます。

また、iPodの世代やオンキヨー製品によって、下記のようなシステム動作ができます。

- **システムオン動作**
  CR-T1の電源をオンにするとDS-A1およびiPodの電源がオンになります。レシーバーや単品アンプの場合、電源オン中にリモコンのPOWER　ONボタンを押すとシステムオン動作するものもあります。
  *第3世代iPodではDS-A1のみがオンになります。
- **システムオフ動作**
  CR-T1の電源オフに連動してDS-A1およびiPodの電源をスタンバイ状態にします。
- **タイマーオフ動作**
  CR-T1のスリープタイマーが働いてシステムの電源がオフになったとき、連動してDS-A1およびiPodをスタンバイ状態にします。
- **ダイレクトプレイ、タイマープレイ動作**
  CR-T1のタイマープレイにより、DS-A1およびiPodの電源が自動的に入り、iPodの再生が始まります。
  *第3世代iPodでは対応していません。
- **オートパワーオン機能**
  CR-T1がスタンバイ状態のときにリモコンの再生ボタン(▶)を押すと、CR-T1の電源が自動的に入り、DS-A1を接続した入力に切り換わったあと、iPodの再生が始まります。
  *第3世代iPodでは再生ボタン(▶)とポーズボタン(❚❚)でこの動作になります。
- **セレクターチェンジ動作**
  CR-T1が他の入力のときリモコンでiPodを再生すると、DS-A1を接続した入力に自動的に切り換わり、iPodの再生をします。
  *第3世代iPodでは再生ボタン(▶)とポーズボタン(❚❚)でこの動作になります。
- **その他のリモコン操作**
  CR-T1に付属のリモコンで基本動作以外のiPod操作をすることができます。
  詳細は8、9ページをご覧ください。

使用上のご注意
音量はCR-T1側で調整してください。iPod本体にイヤホンを接続してお楽しみいただくときは、音量が大きくなりすぎていないかiPod本体で確認してからご使用ください。

操作と可能な動作

リモコンのボタンと操作について

次のリモコンボタンをご使用いただくことができます。
●電源スタンバイ/オンと再生以外は、DS-A1が電源オンのときに操作できます。

iPodの機能	リモコンボタンの名称	動　作
電源スタンバイ/オン	STANDBY/ON	DS-A1がスタンバイ状態のときは、DS-A1の電源をオンにし、iPodも電源オンにします。（第3世代iPodではDS-A1の電源オンのみ）
再生	HDD/CDR▶	DS-A1の電源をオンにし、iPodの再生を開始します。（第3世代iPodでは、PLAY/PAUSE操作となります。）
一時停止	HDD/CDR❚❚ または HDD/CDR■	iPodの再生を一時停止します。（第3世代iPodでは、PLAY/PAUSE操作となります。）
次へ	▶▶❙	iPodの再生曲を次の曲へスキップアップします。
前へ	❙◀◀	iPodの再生曲を前の曲へスキップダウンします。
早送り	▶▶	iPodの再生を早送りします。
巻き戻し（早戻し）	◀◀	iPodの再生を巻き戻し（早戻し）します。

* 第3世代iPodの場合、最新ソフトウェアでも一部働かない機能があります。
* iPod Photoの画像送り/戻しは、iPod Photo本体で操作してください。
* 第5世代iPodのビデオ再生は、iPod本体で操作してください。

こんなこともできます！

以下は、iPod Photo、iPod Mini、第5世代iPod、第4世代iPodでご利用いただける機能です。

iPodの機能	リモコンボタンの名称	動　　作
シャッフル	SHUFFLE/YES/MODE	iPodのシャッフルモード(曲→アルバム→オフ)を切り換えます。
リピート	REPEAT	iPodのリピートモード(1曲→全曲→オフ)を切り換えます。
プレイリストアップ iPodにプレイリストがある場合に働きます。	HDD-PLAYLIST▲	iPodのプレイリストをスキップアップします。
プレイリストダウン iPodにプレイリストがある場合に働きます。	HDD-PLAYLIST▼	iPodのプレイリストをスキップダウンします。
アルバムアップ iPodの曲リストに複数のアルバムがある場合に働きます。	HDD-ALBUM▲	iPodの再生曲を次のアルバムにスキップアップします。
アルバムダウン iPodの曲リストに複数のアルバムがある場合に働きます。	HDD-ALBUM▼	iPodの再生曲を前のアルバムにスキップダウンします。
バックライト	DISPLAY	iPodのバックライトを30秒間点灯させます。
決定、選択	ENTER	iPodで選択した内容を決定します。

＊機種によっては、リモコンにボタンがあっても使用できない場合があります。

操作と可能な動作

iPodとの連動動作

iPod再生検出機能

iPod本体が再生を始めると、次の連動動作を行います。

- CR-T1がスタンバイ状態のとき、電源が自動的に入り、入力も自動的に切り換わります。
- CR-T1が他の入力を選んでいるとき、DS-A1を接続した入力に自動的に切り換わります。

iPodのアラーム機能に連動

- iPodのアラーム機能で再生が開始すると、CR-T1も電源が自動的に入り、入力もDS-A1を接続した入力に切り換わります。

ご注意

- iPod本体で再生する場合やiPodのアラーム機能により再生を開始した場合、スピーカーから音が出るまで最大で5秒程度、出だしが欠けます。これが気になる場合は、CR-T1のリモコンで再生を始める、CR-T1本体のタイマープレイ機能を利用することなどをお勧めします。
- CR-T1に接続している他の機器をご使用の場合は、iPodの再生を停止しておいてください。iPod再生検出機能により、再生曲が切り換わったときなどにCR-T1の入力が切り換わります。
- 他のiPod関連商品と接続してご使用の場合は、iPod再生検出機能が働かない場合があります。

レシーバーやアンプ、AVセンター等との接続

DS-A1は、CR-T1以外のオンキヨー製品と組み合わせて使用することもできます。
RIドックとの接続方法を取扱説明書に記載している製品は、それにしたがって接続および操作を行ってください。
RIドックとの接続方法を記載していない製品の場合は、下記をご覧ください。

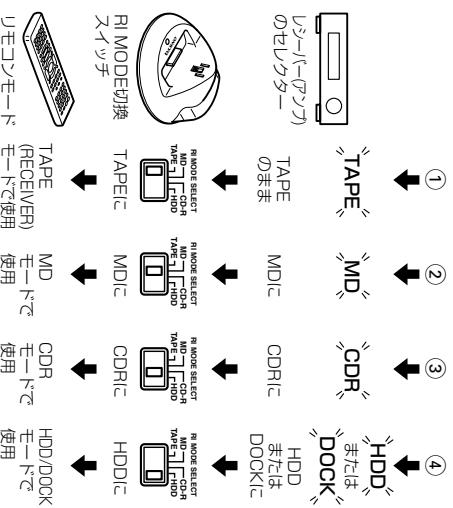
1. DS-A1の音声出力端子(AUDIO OUT L/R)とレシーバー(アンプ)のHDD、DOCK、TAPE、MD、CD-Rなどの入力端子(L/R)を接続する
   - VIDEO端子をHDD(DOCK)用に使用できる機種もあります。
   - HDDとDOCKは同義として使用してください。
2. DS-A1のRI端子とレシーバー(アンプ)のRI端子を接続する
3. iPod Photoや第5世代iPodをご利用の場合は、DS-A1のS VIDEO OUT端子をテレビのS映像入力端子に接続する
   - S映像入力端子のあるAVレシーバー(アンプ)でTAPE端子に映像を割り当てられる場合は、テレビのかわりにAVレシーバー(アンプ)に接続することができます。
     割り当て方法(VIDEO ASSIGN)(ビデオ アサイン)は、各AVレシーバー(アンプ)に付属の取扱説明書をご覧ください。
4. レシーバー(アンプ)によって、端子の入力名称を切り換えて使用するときは、入力名をHDD(DOCK)、TAPE、MDまたはCD-Rに切り換える
   - 入力名の切り換え方法は各レシーバー(アンプ)の取扱説明書をご覧ください。

5. DS-A1底面のMODE切換スイッチを手順1、4に合わせてHDD、TAPE、MD、CD-Rのいずれかにする。
表示名称がDOCKの場合はHDDにしてください。
例1） TAPE/MD端子に接続して表示名称を「MD」にした場合は、MODE切換スイッチも「MD」にします。
例2） DOCK/CDR端子に接続して表示名称を「DOCK」にした場合は、MODE切換スイッチを「HDD」にします。
6. DS-A1のDC INにACアダプターを接続し、アダプターのプラグを家庭用電源コンセントに接続する
7. iPodをDS-A1に乗せる
- このとき、パワーインジケーターが一度点灯したあと消えます。
- iPodへの充電が行われます。また、iPodからの音声や映像がDS-A1の出力端子から出力できる状態になります。

8. レシーバー（アンプ）に付属しているリモコンのモードボタンを手順4と同じモードにしたあと、再生や停止等の操作をする
- リモコンによってモードボタンがない場合は、該当する枠内のボタン等で操作します。

DS-A1の動作中は、パワーインジケーターが点灯します。

クイックチェック

レシーバー（アンプ）の入力とRIMODE切換スイッチ、リモコンモードを合わせましょう。
①リモコンモードをTAPE（RECEIVER）のままで操作する場合
②リモコンモードをMDにして操作する場合
③リモコンモードをCDRにして操作する場合
④リモコンモードをHDD（DOCK）にして操作する場合

困ったときは

音が出ない

- iPodが再生していることをご確認ください。
- DS-A1のドックコネクタ部にiPod本体が正しく接続されているか確かめてください。
- DS-A1を接続しているレシーバーやアンプの電源がオンになっているか、iPodを接続した端子の入力が選択されているか、音量が小さくなっていないか、確かめてください。
- コードやケーブルのプラグは奥まで差し込んでください。
- ACアダプターがDS-A1本体やコンセントから抜けていないか確認してください。

CR-T1のリモコンで操作ができない

- DS-A1のドックコネクタ部にiPod本体が正しく接続されているか確かめてください。
- DS-A1底面のRI MODE切換スイッチが「HDD」に設定されているか確認してください。
- iPodを操作するときはリモコンをCR-T1に向けて操作してください。
- RIケーブルだけでなく、オーディオ用ピンコードも接続してください。

FM/AMを聞いているときノイズが気になる

- FM/AMアンテナをACアダプターのコードやDS-A1、iPod本体から離してみてください。また、ACアダプターのコードを他のコードやケーブル類と一緒に結束しないでください。

主な仕様

電源：DC IN12V（専用ACアダプター）
消費電力：0.4W（iPod非積載時）
質量：220g
外形寸法（幅×高さ×奥行）：112×56×112mm
端子：S映像出力1、アナログ音声出力1、RI端子1

※仕様および外観は、性能向上のため予告なく変更することがあります。
※本製品の故障、誤動作、不具合により生じた損害などの純粋経済損失については、その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

修理メモ

オンキヨー株式会社　〒572-8540　大阪府寝屋川市日新町2番1号
お問い合わせ先　●首都圏サービスセンター　03（5819）2670
●大阪サービスセンター　072（831）8080

SN 29344290A

Printed in Japan
G0607-2
29344290A